第７号様式（第９条関係）（その１）

収　支　報　告　書

令和７年分

1 政治団体の名称

工藤光志後援会

2 主たる事務所の所在地

弘前市十腰内字猿沢187

3 代表者の氏名

工　藤　彌　一

4 会計責任者の氏名

工　藤　タエ子

事務担当者の氏名　　工　藤　タエ子

（電話）　　0172-93-2102

（電話）

（電話）

※この報告書の内容等について連絡する場合がありますので、担当者名、電話番号を必ずご記入ください。

※この欄は記入しないでください。

資産	有・無

選挙管理委員会事務局 -8.1.14 収受

政治団体の区分	
□ 政党	□ 政治資金規正法第１８条の２第１項の規定による政治団体（平成　年　月　日開催分）
□ 政党の支部	
□ 政治資金団体	
	☑ その他の政治団体
	□ その他の政治団体の支部

活動区域の区分	
□ ２以上の都道府県の区域等	☑ 同一の都道府県の区域内

資金管理団体の指定の有無	
□ 有	
☑ 無	
公職の種類	(注2)
資金管理団体の届出をした者の氏名	

国会議員関係政治団体の区分	
□ 政治資金規正法第１９条の７第１項第１号に係る国会議員関係政治団体	
□ 政治資金規正法第１９条の７第１項第２号に係る国会議員関係政治団体	
公職の候補者の氏名	(注2)
公職の種類	

資金管理団体の指定の期間（注3）
平成　年　月　日から
平成　年　月　日まで

国会議員関係政治団体に関する特例の適用期間（注3）
平成　年　月　日から
平成　年　月　日まで

（注）　1　該当する「□」に「レ」を記入してください。

2　資金管理団体のしての有無・国会議員関係政治団体の区分の欄については該当する団体以外の団体は記入不要です。記載に当たっては記載要領3（1～3ページ）をご覧ください。

3　資金管理団体の指定の期間、国会議員関係政治団体の関する特例の適用期間について当該年中に新たに指定・適用及び取消をした団体のみ記載してください。

（その２）

収　支　の　状　況

1. 収 支 の 総 括 表

収 入 総 額		13,316
	(前年からの繰越額)	13,316
	(本年の収入額)	0
支 出 総 額		0
翌 年 へ の 繰 越 額		13,316

2.収入項目別金額の内訳

(1)　個人の負担する党費又は会費	
金　　額	
員　　数	

(注) 1　金額は、合計金額を記載してください。
2　員数は、実人数を記載してください。

(2)寄附			
ア　寄附（イを除く。）の区分		金　　額	備　　考
	(ｱ)個人からの寄附		
	［うち特定寄附］		
	(ｲ)法人その他の団体からの寄附		
	(ｳ)政治団体からの寄附		
	小　　計　　((ｱ)+(ｲ)+(ｳ))		
	［寄附のうち寄附のあっせんによるもの］		
イ　政党匿名寄附			
合　　計（ア＋イ）		0	

(注)「寄附」による収入がある場合は、（その7）の記載が必要です。

（その17）

資　産　等　の　状　況

1　資産等の総括表

資産等の有無			
資産等の項目別区分	有	無	備　考
ア　土　地	□	☑	
イ　建　物	□	☑	
ウ　建物の所有すを目的とする地上権又は土地の賃借権	□	☑	
エ　取得の価格が１００万円を超える動産	□	☑	
オ　預金（普通預金及び当座預金を除く。）若しくは（普通貯金を除く。）又は郵便貯金（通常郵便貯金を除く。）	□	☑	
キ　有価証券	□	☑	
ク　出資による権利	□	☑	
ケ　貸付先ごとの残高が１００万円を超える貸付金	□	☑	
コ　支払われた金額が１００万円を超える敷金	□	☑	
サ　取得の価格が１００万円を超える施設の利用に関する権利	□	☑	
シ　借入金ごとの残高が１００万円を超える借入金	□	☑	

（注）1　有無について「□」に「√」を記入してください。

2　資産等が「有」の場合、資産等の項目別に（その17）に記載してください。

3　記載要領の18（7ﾍﾟｰｼﾞ）を参考に記載してください。

（その18）

宣　　誓　　書

添付資料（別紙のとおり）

1　領収書の写し

2　監査意見書（政党及び政治資金団体に限る。）

この報告書は、政治資金規正法に従って作成したものであって、事実に相違ありません。

令和8年　1月１３日

政治団体名称　工藤光志後援会

会計責任者の氏名　工　藤　タエ子　印

代表者の氏名　　印

（代表者の氏名は、解散に伴う収支報告書のみ記載してください。）

（備考）「会計責任者の氏名」欄（解散に伴う収支報告書については「代表者の氏名」欄も）は、記名押印又は署名とし、署名は必ず会計責任者本人（代表者本人）が自署すること。